（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：副首都推進局　事業再編担当】

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 令和元年12月４日(水)　 ①　11:00　～　12:10  　　　　　　　　　　　　②　12:40　～　13:10  　　　　　　　　　　　　③　13:30　～　15:00 |
| 場所 | ①②大手町フィナンシャルシティグランキューブ、③国土交通省 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：  　上山特別顧問  (職員等)：  　副首都推進局事業再編担当課長代理  　大阪府スマートシティ戦略準備室長、副理事  　大阪市ＩＣＴ戦略室活用推進担当課長 |
| 論点 | ○大阪におけるスマートシティについて  　①VANTIQ株式会社との意見交換  　②打ち合わせ  　③国土交通省におけるＩＣＴを活用した都市づくりの取組み |
| 主な意見 | （VANTIQ株式会社との意見交換）  ○リアルタイムに発生する事象を瞬時に分析し、アクションにつなげるというシステム（イベントドリブン・アーキテクチャー）は、特に防災の分野で有用。  （打ち合わせ）  ○キャッシュレスについては、費用対効果だけではなく、ＢＰＲの観点から役所における業務効率化の視点が大事。住民にとっては、現金だけでなく、キャッシュレスも選べるという選択肢を増やすことが大事。  ○データテインメントは、先端テクノロジーを使って、大阪の観光コンテンツを演出し、楽しいまちづくりにつなげる。  （国土交通省におけるＩＣＴを活用した都市づくりの取組み）  ○国内自治体の先進事例を学び、大阪のスマートシティ戦略の参考にする。国では様々な財政支援策を用意しており、市町村のニーズや取り組む分野に応じてマッチングしていくことが大事。 |
| 結論 | 特別顧問のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 | 「②打ち合わせ」の「場所」については、事前公表では、「東京事務所」としていましたが、「大手町フィナンシャルシティグランキューブ」において行っています。 |
| 関係所属  （部課） | ＩＣＴ戦略室企画担当 |